

取扱いの趣旨

上部消化管運動に対して作用する医薬品の、下部消化管における内視鏡検査又は内視鏡手術の前処置としての算定は、原則として認められない。

支払基金が公表している取扱いの全文

【検査】 《令和6年12月27日》

404 胃腸機能整腸薬（下部消化管における内視鏡検査又は内視鏡手術時の前処置）の算定について

○ 取扱い

下部消化管における内視鏡検査又は内視鏡手術時の前処置として次の薬剤の算定は、原則として認められない。

- | | |
|----------------------------|------------------------|
| (1) イトブリド塩酸塩（ガナトン錠等） | (2) ドンペリドン（ナウゼリン錠等） |
| (3) トリメブチンマレイン酸塩（セレキノロン錠等） | (4) メトクロプラミド（プリンペラン錠等） |

○ 取扱いを作成した根拠等

上記(1)から(4)の医薬品については、添付文書の効能・効果に「慢性胃炎における消化器症状」等と上部消化管の疾患、症状が記載されており、上部消化管運動に対して作用すると考えられ、下部消化管における内視鏡検査又は内視鏡手術時の前処置としての有用性は低く適応もない。

以上のことから、当該検査又は当該手術時の前処置として上記(1)から(4)の当該医薬品の算定は、原則として認められないと判断した。

グラフの見方

1 棒グラフ(該当レセプトの審査結果)

当該事例の取扱いの対象となる診療行為（医薬品、特定器材）を算定している目視対象レセプト
1万件当たり、取扱いの趣旨に該当するレセプト件数

2 折れ線グラフ

取扱いの趣旨に該当するレセプトのうち、
査定・返戻となった割合

【棒グラフ凡例】 審査の結果

| | | |
|-------------|---------------|----------|
| 査定 | 返戻 | : 取扱いどおり |
| 請求どおり 職員 | 請求どおり 審査委員 | : 検証が必要 |

審査結果の概要

- 全国の査定・返戻割合 97.58%
- 検証対象都道府県 3

| 検証観点 | 都道府県 | 備考 |
|------------|-----------|----------------|
| 査定・返戻割合が低い | 神奈川、岩手、青森 | 査定・返戻割合の低い順 |
| 請求どおり・職員 | | 対象1万件当たり件数の多い順 |
| 請求どおり・審査委員 | 岩手、青森、神奈川 | // |

| 該当件数（全国） | 【条件】 | 2,972件 |
|------------|---------|--------|
| 取扱いに基づく審査 | 査定・返戻の計 | 2,900件 |
| 検証を必要とする審査 | 請求どおり | 72件 |

